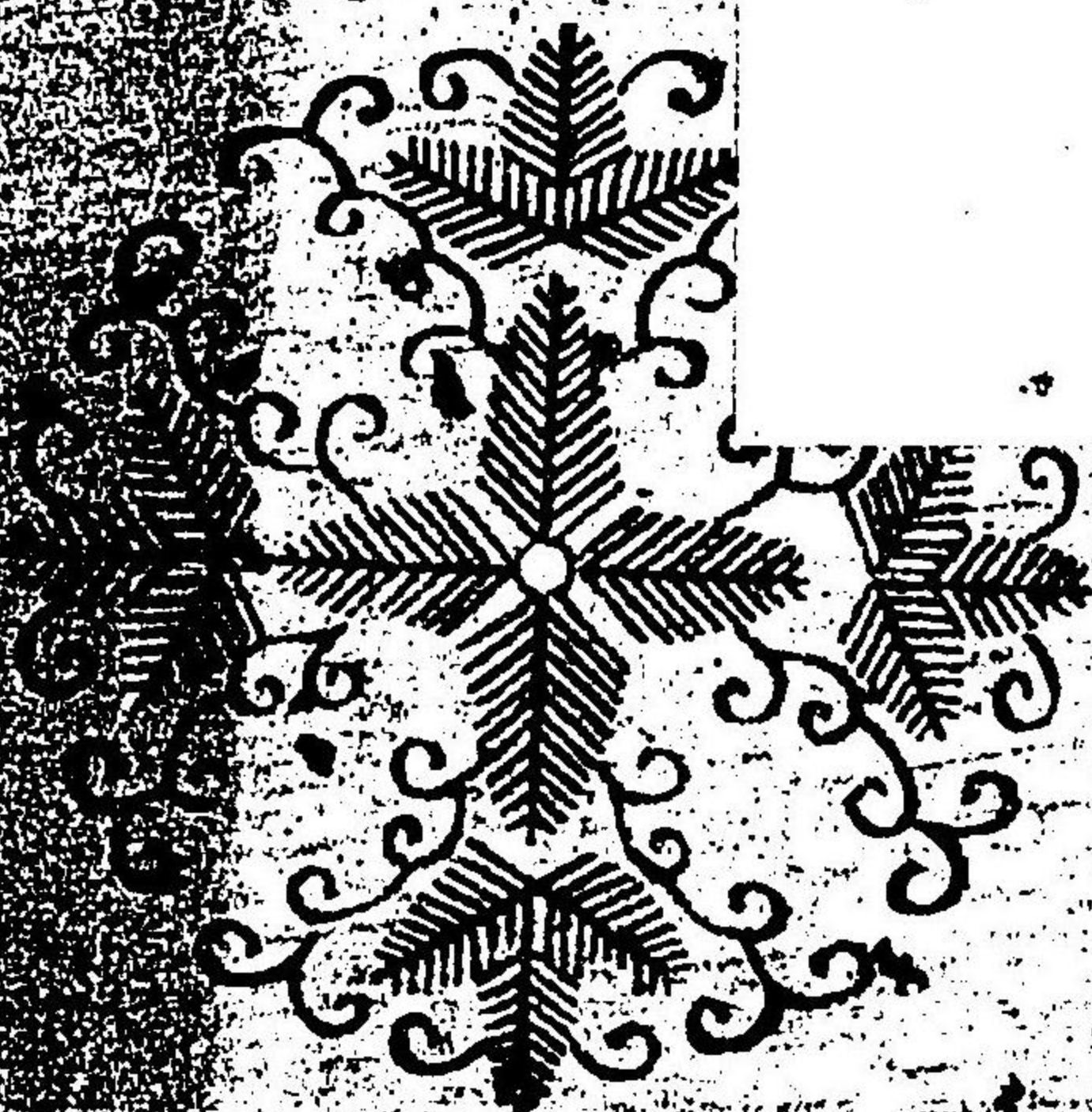


仮名のかきかた

42

156



255
333

070744-000-4

特42-156

仮名のかきかた

塗師谷 秀教/編

M43

CED-0147



特42
156

塗師谷遊雲先生編並書



徳島大学蔵

東京

三樂堂藏版

明治
43. 3. 30
内交

はしおき

平假名も萬葉假名も、もとはすべて漢字の草體よりいでたるものなれば、いかに略したればさて、もとの心の失はぬが本體なるに、世の下るにつれてさまざまに書きくづし、いつしか本の漢字の心を失へる體なども出で來ぬめり。されば今の世の大方の人は、たゞ假名の形を真似ることのみ知りて本の心を辨へず、筆にまかせて思ひくゝに書きなすものから、いよくその本體に遠ざかりゆくを、おのれ遺憾に思ひ居たる折から、三樂堂の主人來りて、假名習ふ人の便りよき手本もかなとの頼みに、いざとて書きいせたるがこの一卷なり。

初めに平假名萬葉假名各の、今の世に多く用ゐらるゝものを選びて、一々古書古傳にその本體變遷をたづね、且つその本の漢字をも

書きそへ、初學びの便りさあしぬ、次に假名は一字くの書きさま
整ひても、そのつゞけさま悪しければ、かなはぬものゆへ、別につ
くべき筆の運びかた並に色紙たにさくの書方をも示し置きぬ、こ
は文字のつゞけさまを會得するごとくもに、字くばり、墨つきなど
も辨へしめむとてなり、みむ人、心してよ

明治四十三年三月

編者誌るす



以
伊移意



い、伊移意

呂樓侶路露漏

るるる、橋侶路露漏

波者盤半八葉

は。者。者。者。者。者。者。者。者。

仁二爾耳丹兒

に。二。爾。耳。丹。兒。

保報本寶

保。保。保。保。保。保。保。保。

一邊篇弊遍倍

へ。一。邊。篇。弊。遍。倍。

止土東登徒等斗

止土東登徒等斗

知地遲馳致

知地遲馳致

利里理李離梨

利里理李離梨

奴努怒留流累類

奴努怒留流累類

遠乎越緒惡

意。在。正。平。乎。越。緒。惡。

和王倭加可闕歌

和。王。倭。加。可。闕。歌。

與餘余代太堂多當

與。餘。余。代。太。堂。多。當。

禮禮連麗曾所楚

禮。連。麗。曾。所。楚。

川都津徒 祢滿年然

川都津徒祢收年然

奈那難 良羅樂

奈那難良羅樂

武无舞 宇有雲

武無舞宇有雲

為遺井 乃濃能

為為遺井乃の濃能

於億應久九具

於お億應久九具

也夜耶野末萬万滿

也夜夜耶野末萬滿

計氣希介不布婦夫

計氣希介不布婦夫

已許故古衣江盈

已許故古衣江盈

天轉亭 安阿愛

天。轉。亭。安。阿。愛。

左佐斜 幾支起喜

左。佐。斜。幾。支。起。喜。

由遊游瑜 女免米馬

由。遊。游。瑜。女。免。米。馬。

美見三 之志事新

美。見。三。之。志。事。新。

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written vertically and appears to be in a historical or religious context. The characters are highly stylized and connected.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. It is also written vertically and contains several lines of text.

折の御書に福の心刺す
物に心通す心通す
念の心通す心通す
御福の心通す心通す
たゞの心通す心通す

あつた御書に及ぶ心通す
御書に及ぶ心通す
御書に及ぶ心通す
御書に及ぶ心通す
御書に及ぶ心通す
御書に及ぶ心通す

+

かゝる人々、
我々の生活に
如何に利益を
与へて居るか
を、如何に
我々の生活に
利益を與へて
居るか、如何
に我々の生活
に利益を與へ
て居るか、

如何に我々の
生活に利益を
與へて居るか
を、如何に我
々の生活に利
益を與へて居
るか、如何に
我々の生活に
利益を與へて
居るか、如何
に我々の生活
に利益を與へ
て居るか、

らりるりるりるりるりるり
子らりるりるりるりるり
わらりるりるりるりるり
らりるりるりるりるりるり
りらりるりるりるりるり

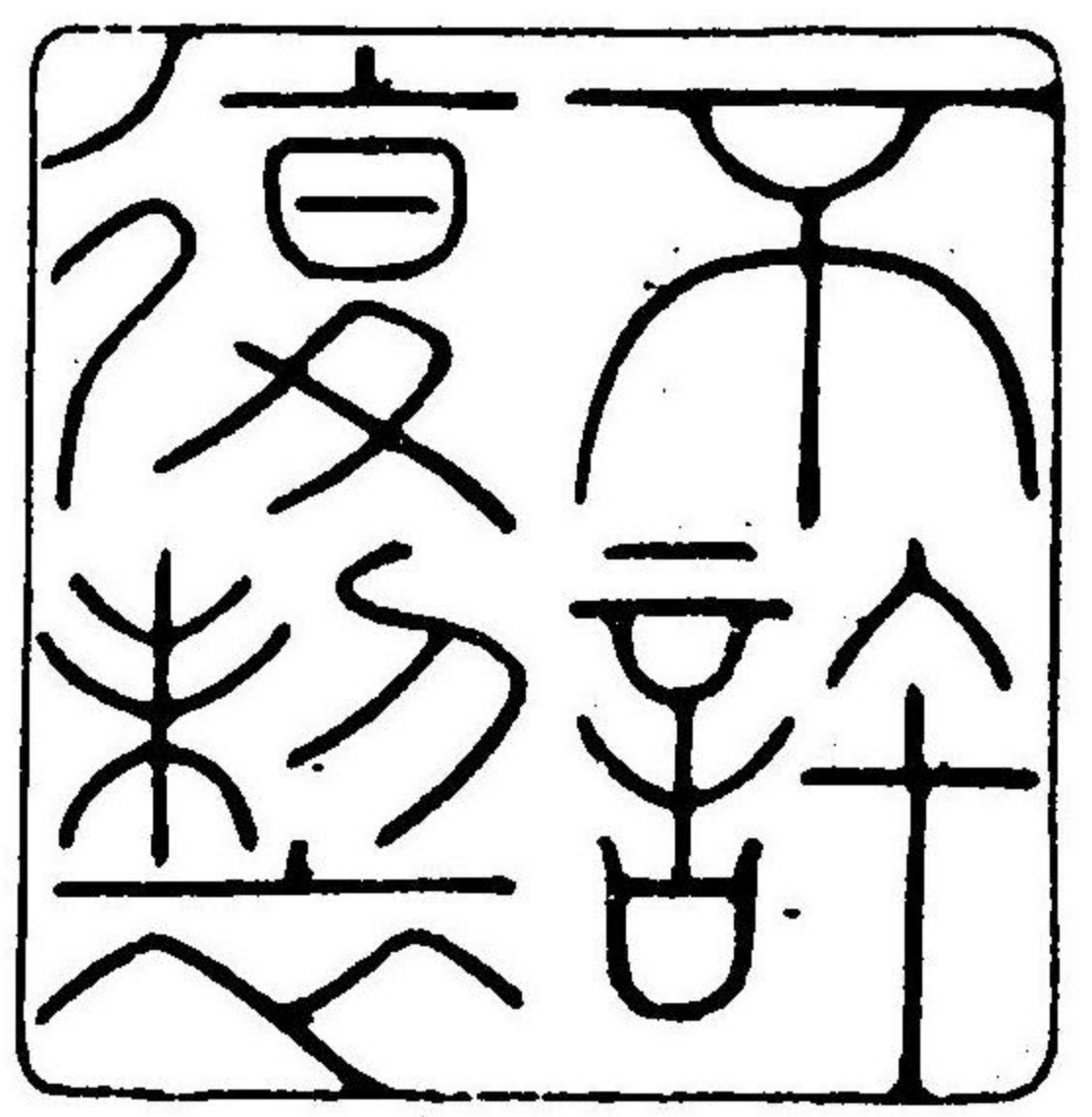
らりるりるりるりるり
らりるりるりるりるり
らりるりるりるりるり
らりるりるりるりるり
らりるりるりるりるり

子何來也本もあやふせに秋の縁
ゆづりふまゝの由りなほほほいふに
可別とてあやふせに秋の縁とて
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに

あやふせにふまゝの由りなほほほいふに
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに
あやふせにふまゝの由りなほほほいふに

255
333

明治四十三年三月二十四日印刷
明治四十三年三月二十八日發行



定價金貳拾錢

編輯兼
書者
塗師谷秀教
東京市神田區猿樂町丁三番地

發行者
望月 誠
東京市下谷區南大門町四番地

彫刻兼
印刷者
堀越亥之助
東京市下谷區徒士町丁三番地

發行所
三樂堂
東京市下谷區南大門町四番地

